



企画展  
こけし

2026年 7月4日(土) ▶ 9月6日(日)

【プレスリリースのお問い合わせ】

フェルケール博物館 学芸部 椿原・鳴海

TEL : 054 - 352 - 8060 [代表] FAX : 054 - 352 - 9095

Email : eriko.narumi@verkehr-museum.com

## 【本展について】

こけしは江戸時代の後半に東北地方で誕生した木製の人形で、碗や盆などを制作する木地職人が本業の傍ら端材で子どものおもちゃとして作ったのがはじまりといわれています。その後、東北地方の温泉地で土産物として販売されるようになりました。

昭和初期には美的価値を有する民芸として注目されたこけしは、研究者や蒐集家によって産地ごとに分類され、様々な書籍で紹介されました。また、昭和30年代以降から観光旅行で温泉地への訪問が流行すると、こけしが再注目されるようになりました。本展で紹介するこけしは、このような時期に収集されたコレクションになります。

本展では、こけしを10の産地に分けて紹介します。それは形体や模様で分けられていますが、産地の多くが温泉地と重なっていることは土産物として扱われてきたことを示しています。

## 【見どころ】

本展では、こけし蒐集家・土橋慶三氏による10系統の分類を参考にして、下記の通りに産地ごとにこけしを分類し展示します。

青森県：津軽系

岩手県：花巻（南部）系

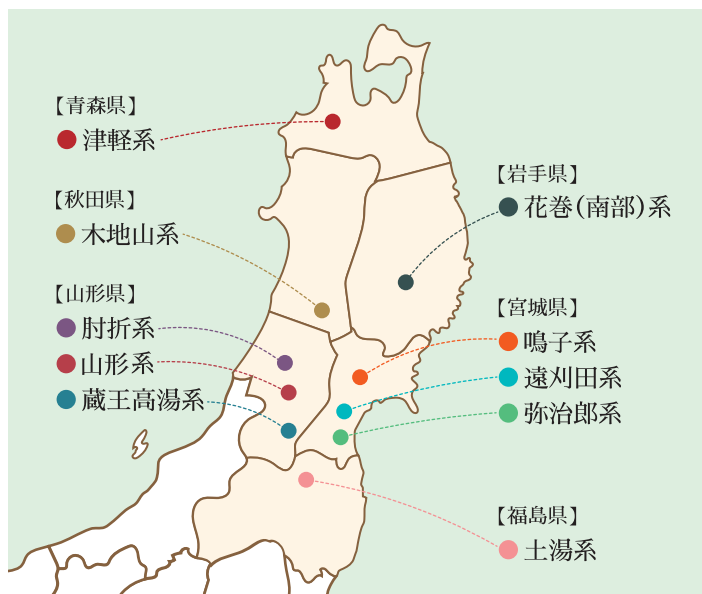
秋田県：木地山系

宮城県：鳴子系、遠刈田系、弥治郎系

山形県：肘折系、山形系、蔵王高湯系

福島県：土湯系

こけしは系統ごとに形体や模様が異なり、その型は親から子へまた師弟関係を通して継承されながらも、時代の気風や職人の考えによって少しずつ変化が見られます。



### ◆こけしの系統

#### 津軽系

頭と胴が一本の木で作られることが多い。おかっぱ頭で、胴にはねぶたやアイヌ模様が描かれることが多い。



#### 花巻（南部）系

「キナキナ」と呼ばれるおしゃぶりが原型で、頭はゆらゆらと揺れるように胴にゆるくはめ込まれている。無彩色がほとんどで、描彩があっても簡素なものが多い。



#### 木地山系

円形またはらっきょう形の頭、太めの胴が特徴である。着物と前垂れが描かれていることが多い。



#### 鳴子系

頭は胴にはめ込まれ、首を回すとキイキイと音が鳴る。くびれのある胴で、肩と裾が広がっているものが多い。



### 遠刈田系

遠刈田（とおがった）系のこけしの頭は差し込み式で大きく、赤い放射状の飾りやおかっぱ頭が描かれる。切れ長の細い目と、なで肩の細い胴が特徴的である。



### 弥次郎系

大きめの頭は胴に差し込まれ、多色のろくろ模様が特徴である。胴はくびれ、太いろくろ線に襟や裾の模様を組み合わせ描くものがよく見られる。



### 肘折系

肘折（ひじおり）系は鳴子系のように肩が張るが、胴は直線的なものがほとんどである。頭は遠刈田系と同様な赤い放射状の飾りやおかっぱ頭が描かれる。目が特徴的で、にんまりした表情がよく見られる。



### 山形系

宮城県作並で学んだ職人が山形県で始めたもので、差し込み式の頭は小さく棒状の細い胴が特徴である。頭には赤い飾りと中心を貫く髪、顔には割鼻と特色ある描彩のこけしである。



### 蔵王高湯系

遠刈田系の影響を受けて発展したと言われ、差し込み式の頭、どっしりとした胴が特徴である。頭の模様は赤い放射状の飾りやおかっぱが多い。



### 土湯系

頭ははめ込み式で、頭頂部は黒い蛇の目を描き、大きめの前髪の両側に赤い飾りを描く。胴は細く、ろくろの縞模様が特徴である。



## ◆こけしの胴模様

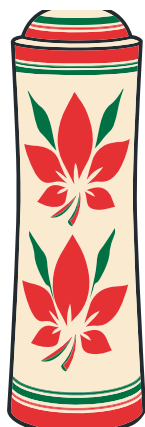
こけしの胴模様は、手描きとろくろを回転させて色をのせる線描きの2つの手法で描かれます。

ろくろを用いた線模様（ろくろ線）をよく使うのは土湯系と弥治郎系ですが、津軽系はろくろ線と「ねぶた」や「アイヌ模様」などを組み合わせた独特な模様をしています。手描きの手法では菊や楓、なでしこなどの花模様が多く、木地山系のように着物の模様や緋の前垂れ模様を描くなど、職人の個性が感じられます。

菊



楓



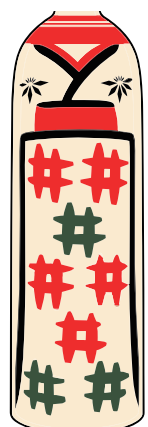
ろくろ線



ねぶたとアイヌ模様



着物模様



## 【関連イベント】

こけし絵付け体験「マイこけしを作ろう！」

鳴子のこけしに絵付けをして自分だけのこけしを作りましょう。

あなたのこけしはどんな顔になるのかな？

日時：①7月11日（土）13時30分～15時

②8月8日（日）13時30分～15時

会場：当館会議室

体験料：1,000円

定員：各回10名（要申込、小学3年生以下は保護者同伴）

申込：電話054—352—8060にてお申込みください



## 【基本情報】

- 展覧会名： 企画展 こけし
- 開催期間： 2026年7月4日（土）～9月6日（日）
- 開館時間： 9時30分～17時（最終入館16時30分）
- 休館日： 毎週月曜日 \*ただし7月20日（月祝）は開館、7月21日（火）は休館
- 観覧料： 一般・大学生400円、中・高生300円、小学生200円  
\*毎週土曜日と「海の日」は小・中学生無料  
\*団体20名以上は20%引き  
\*常設展もあわせてご覧いただけます
- 主催： 一般財団法人清水港湾博物館
- 後援： 静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、朝日新聞静岡総局、NHK静岡放送局、毎日新聞静岡支局、読売新聞静岡支局、産経新聞社静岡支局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ
- 協賛： 鈴与グループ



- JR「清水駅」から静鉄バス「波止場フェルケール博物館」下車
- 静岡鉄道「新清水駅」から「波止場フェルケール博物館」下車
- 東名高速道路・清水ICから約10分

 **フェルケール博物館**  
(一般財団法人 清水港湾博物館)

〒424-0943 静岡市清水区港町2-8-11 TEL.054-352-8060

当館 HP

